

動作補助手すり

クレセントアンカー 石膏ボード1枚貼り(壁厚 9・9.5mm, 12・12.5mm の場合)

工具・仕様・製品図

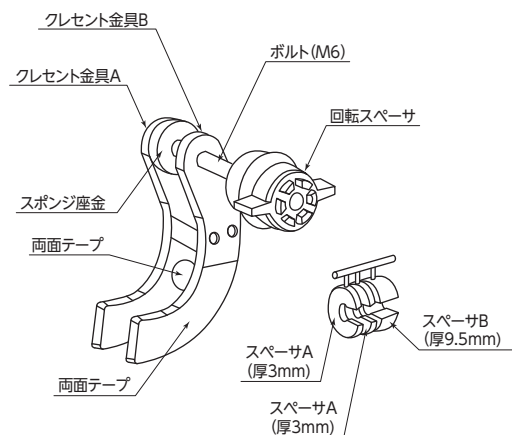
■ 準備する工具

- 六角棒スパナ(呼び3)
- スパナ(M6)
- 金尺(壁厚測定用)
- 電気ドリル(穴あけ用)
- ホルソー(穴あけ用)
- 推奨ホルソー：(株)ニコテック, バイメタルホルソーφ25 BK01050
- ：ボッシュ(株), バイメタルホルソーφ25 BTU83(電気ドリル用ストレー
トシャンク)

■ 仕様表

基本適応壁厚	使用スペーサ	壁穴径	必要な壁裏スペース	ボルト径
9mm・9.5mm	不要	φ25mm	40mm以上	M6
12mm・12.5mm	スペーサA1ヶ所			

■ 製品図



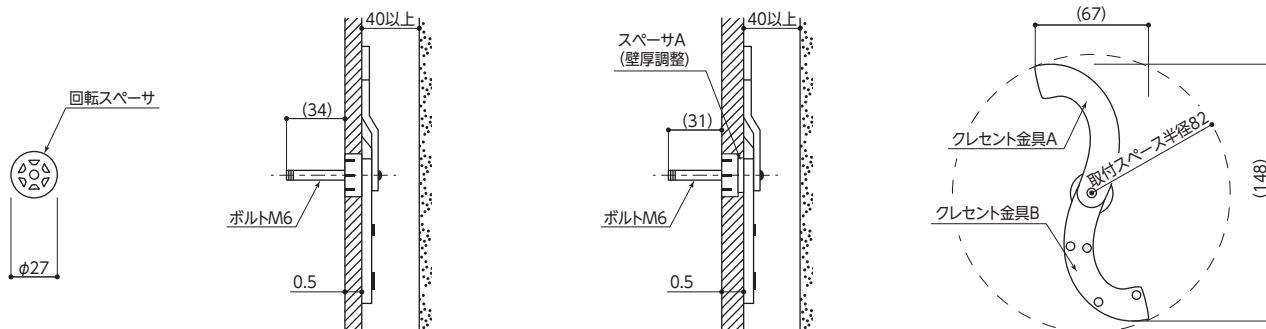
取付状態図

壁仕上面

壁厚 9・9.5mm の場合

壁厚 12・12.5mm の場合

壁裏面



お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

やさしさと安心を たしかな技術で支えます。

ナカ工業株式会社 URL <http://www.naka-kogyo.co.jp>

ナカテクノナタル株式会社 URL <http://www.naka-techno.co.jp>



携帯電話の QR コード読み取り機能により、このコードを読み込むと、弊社アドレス一覧モバイルサイトへアクセス出来ます。

取付方法

- ① 取付スペース半径82mmが確保できる、壁下地の無い場所を探し、壁にホルソーで正確にφ25mmの穴をあけます。穴あけ後は、小口の切粉を拭いてください。

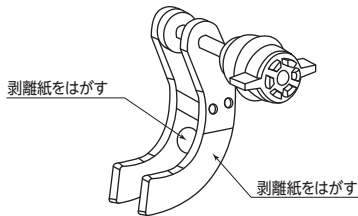


⚠ 注意

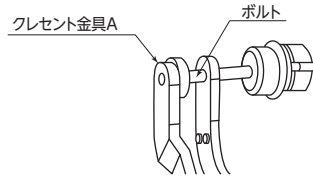
❗ お願い

壁穴がφ25より大きい場合、回転スペーサが壁穴に入り込んで、取り付けられなくなります。壁穴は正確にあけてください。

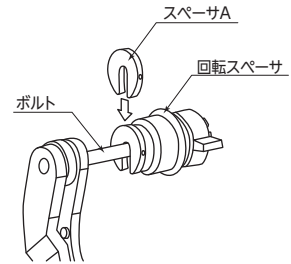
- ④ クレセント金具A, Bに付いている両面テープの剥離紙をはがします。



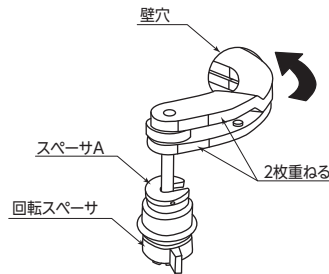
- ② スポンジ座金は、クレセント金具A側に寄せてください。



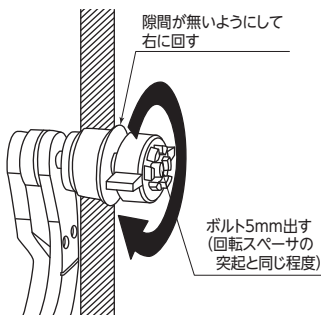
- ③ 壁厚12mm・12.5mmの場合、スペーサAを1ヶ所切り取り、回転スペーサに接するようにボルトに差し込みます。9mm・9.5mmの場合は必要ありません。



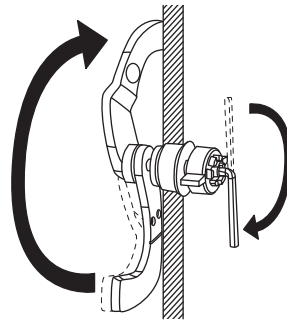
- ⑤ クレセント金具A, Bを2枚重ねて穴に差し込みます。スペーサAがボルトに付いている場合、スペーサAは回転スペーサ側に寄せて、穴に差し込んでください。



- ⑥ 回転スペーサを穴に差し込み、壁に押し付けながら右に回します。回し続けるとボルト先端が回転スペーサより出せますので5mm程度出します。



- ⑦ 六角棒スパナをボルトに差し込み、180°回転させます。(ボルト先端の線が上に位置するようにします。)これによりクレセント金具Aが180°回転します。

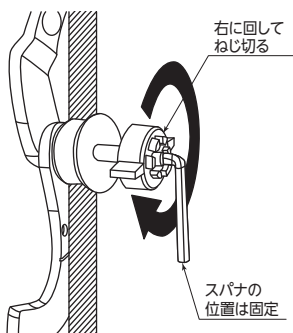


⚠ 注意

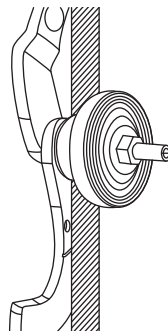
❗ お願い

ボルトは必ず180°回してください。ボルトを180°回すとクレセント金具Aも180°回転して開きます。そのとき最も高い強度が得られます。

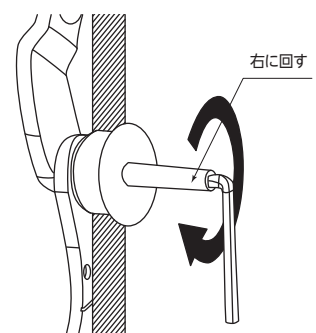
- ⑧ 六角棒スパナをそのままの状態にして、回転スペーサをさらに右に回します。抵抗がありますがさらに回して、くびれの部分からねじ切ります。



- ⑨ ボルトに手摺取付用の部品を固定します。



- ⑩ ボルトが長い場合は、部品を固定する前に六角棒スパナを差し込み、右に回します。ボルトが短くなりますので、適切な長さに調節します。その後、部品を取り付けてください。



動作補助手すり

クレセントアンカー 石膏ボード2枚貼りの場合

工具・仕様・製品図

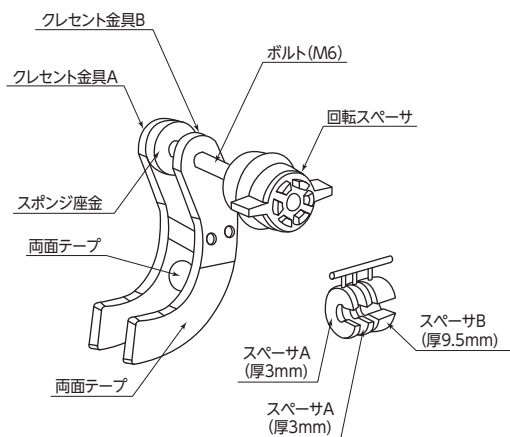
■ 準備する工具

- 六角棒スパナ(呼び3)
- スパナ(M6)
- 金尺(壁厚測定用)
- 電気ドリル(穴あけ用)
- 木ヤスリ(半丸、長さ150)
- ホルソー(穴あけ用)
- 推奨ホルソー：(株)ニコテック、バイメタルホルソーφ25 BK01050
- ：ポッシュ(株)、バイメタルホルソーφ25 BTU83(電気ドリル用ストレー
トシャンク)

■ 仕様表

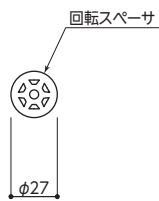
壁厚	使用スペーサ	壁穴径	必要な壁裏スペース	ボルト径
16.5mm	スペーサA2ヶ所	φ25mm	40mm以上	M6
18mm・19mm	スペーサB			
21mm・22mm	スペーサA+B			

■ 製品図

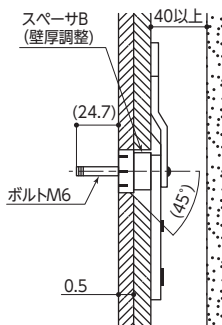


取付状態図

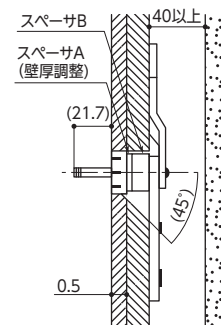
壁仕上面



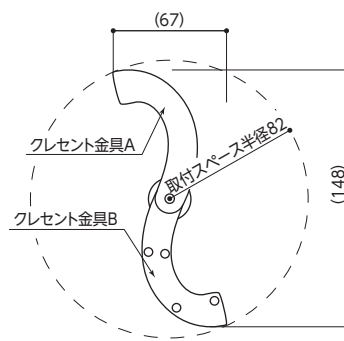
壁厚 19mm の場合



壁厚 22mm の場合



壁裏面



お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

やさしさと安心を たしかな技術で支えます。

ナカ工業株式会社 URL <http://www.naka-kogyo.co.jp>

ナカテクノナタル株式会社 URL <http://www.naka-techno.co.jp>



携帯電話の QR コード読み取り機能により、このコードを読み込むと、弊社アドレス一覧モバイルサイトへアクセス出来ます。

取付方法

- ① 取付スペース半径82mmが確保できる、壁下地の無い場所を探し、壁にホルソーで正確にφ25mmの穴をあけます。穴あけ後は、小口の切粉を拭いてください。

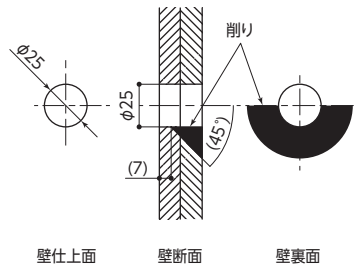


⚠ 注意

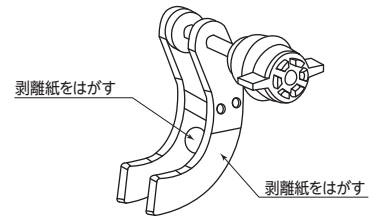
❗ お願い

壁穴がφ25より大きい場合、回転スペーサが壁穴に入り込んで、取り付けられなくなります。壁穴は正確にあけてください。

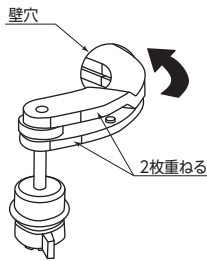
- ② 壁穴裏側、穴の下半分を木工ヤスリで、すり鉢状に削ります(45°程度)。このとき、仕上面側の穴小口は削らないように注意してください。



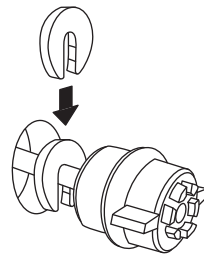
- ③ クレセント金具A, Bに付いている両面テープの剥離紙をはがします。



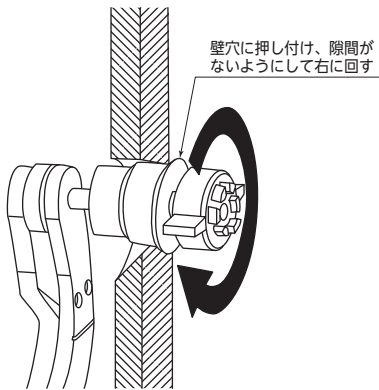
- ④ クレセント金具を2枚重ねて穴に差し込みます。



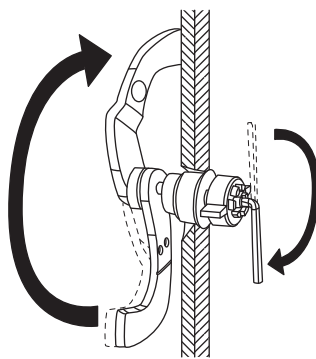
- ⑤ 壁厚調整用のスペーサをボルトに取り付けます。取り付けるスペーサは、仕様表のとおりです。



- ⑥ 回転スペーサを穴に差し込み、壁に押し付けながら5回転程度右に回します。



- ⑦ 六角棒スパナをボルトに差し込み、180°回転させます。これによりクレセント金具Aが180°回転します。

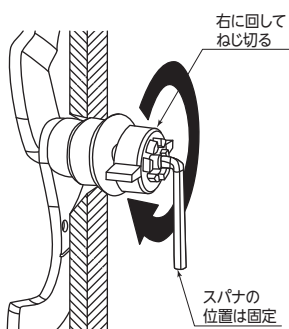


⚠ 注意

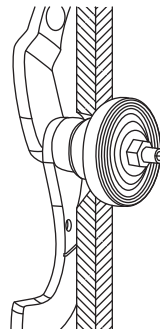
❗ お願い

ボルトは必ず180°回してください。ボルトを180°回すとクレセント金具Aも180°回転して開きます。そのとき最も高い強度が得られます。

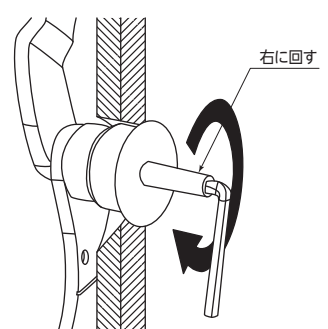
- ⑧ 六角棒スパナをそのままの状態にして、回転スペーサをさらに右に回します。抵抗がありますがさらに回して、くびれの部分からねじ切ります。



- ⑨ ボルトに手摺取付用の部品を固定します。



- ⑩ ボルトが長い場合は、部品を固定する前に六角棒スパナを差し込み、右に回します。ボルトが短くなりますので、適切な長さに調節します。その後、部品を取り付けてください。



動作補助手すり

クレセントアンカー 壁厚 9mm 以下の場合

工具・仕様・製品図

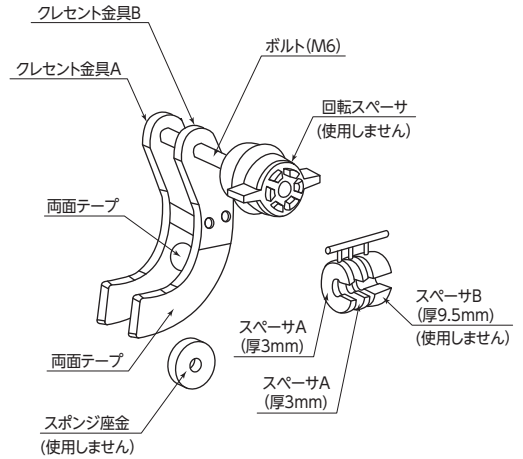
■ 準備する工具

- 六角棒スパナ(呼び3)
- スパナ (M6)
- 金尺(壁厚測定用)
- 電気ドリル(穴あけ用)
- ホルソー(穴あけ用)
- 推奨ホルソー：(株)ニコテック, バイメタルホルソーφ25 BK01050
- ：ボッシュ(株), バイメタルホルソーφ25 BTU83(電気ドリル用ストレー
トシャンク)

■ 仕様表

壁厚	使用スペーサ	壁穴径	必要な壁裏スペース	ボルト径
4~5mm	スペーサA1ヶ所	φ25mm	40mm以上	M6
6~8mm	スペーサA2ヶ所			

■ 製品図



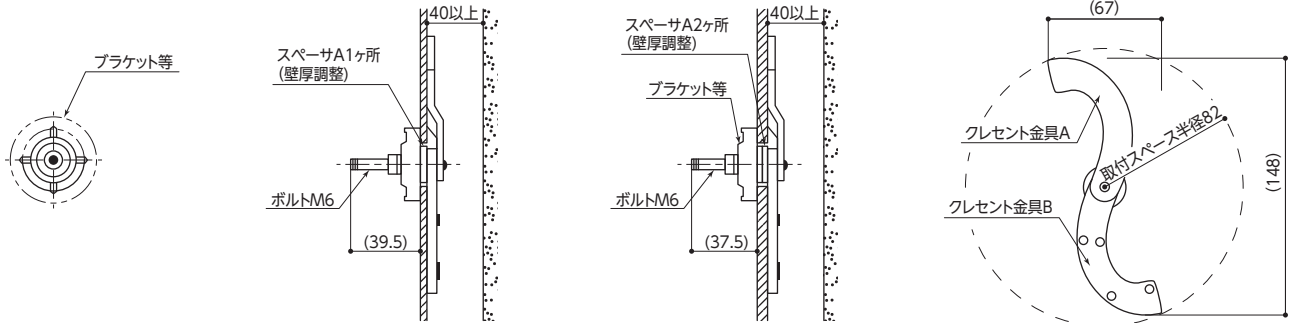
取付状態図

壁仕上面

壁厚 4mm の場合

壁厚 6mm の場合

壁裏面



お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

やさしさと安心を たしかな技術で支えます。

ナカ工業株式会社 URL <http://www.naka-kogyo.co.jp>

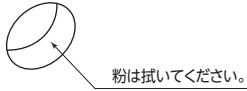
ナカテクノタタル株式会社 URL <http://www.naka-techno.co.jp>



携帯電話の QR コード読み取り機能により、このコードを読み込むと、弊社アドレス一覧モバイルサイトへアクセス出来ます。

取付方法

- ① 取付スペース半径82mmが確保できる、壁下地の無い場所を探し、壁にホルソーで正確にφ25mmの穴をあけます。穴あけ後は、小口の切粉を拭いてください。

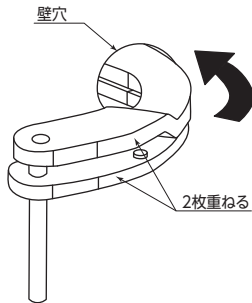


⚠ 注意

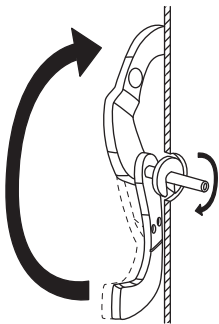
❗ お願い

壁穴がφ25より大きい場合、回転スペーサが壁穴に入り込んで、取り付けられなくなります。壁穴は正確にあけてください。

- ④ クレセント金具A, Bを2枚重ねて穴に差し込みます。



- ⑥ ボルトを持ち180°回転させます。(ボルト先端の線が上に位置するようにします。)これによりクレセント金具Aが180°回転します。

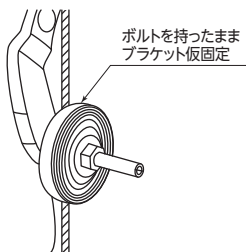


⚠ 注意

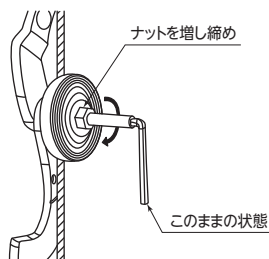
❗ お願い

ボルトは必ず180°回してください。ボルトを180°回すとクレセント金具Aも180°回転して開きます。そのとき最も高い強度が得られます。

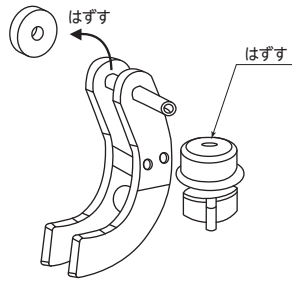
- ⑧ ボルトを持ったまま(線が上の状態)ブラケット等をボルトに差し込み、ナットを用いて仮固定します。



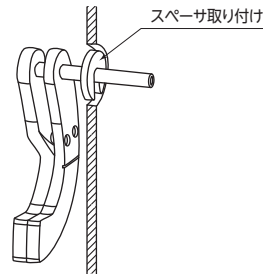
- ⑨ ボルトに六角棒スパナを差し込み、回転させないようにしてナットを増し締めして完了です。



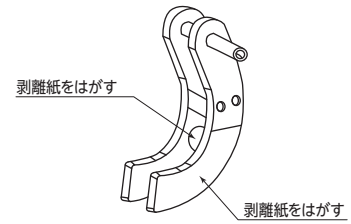
- ② 壁厚9mm以下の場合、回転スペーサをボルトより外します。スポンジ座金は使用しません。



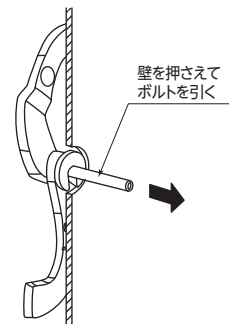
- ⑤ 壁厚調整用のスペーサをボルトに取り付けます。取り付けるスペーサは、仕様表のとおりです。



- ③ クレセント金具A, Bに付いている両面テープの剥離紙をはがします。



- ⑦ ボルトが壁穴中心になるようにしながら手前に引いて、クレセント金具を壁に貼り付け、仮固定します。



- ⑩ ボルトが長い場合は、増し締めしたナットを少し緩め、その位置を保ちながらボルトを右に回して適切な長さに調節します。(ナットは緩め過ぎないでください。クレセント金具Aが回転してしまうことがあります。その場合、項目⑥より取り付け直ししてください。)

